

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和5年5月

学校法人 平山学園

I 法人の概要

1 建学の精神

本学園は建学の精神を「全校一大家族」と定め、「この世の全ての人を家族と考え、人のため、世のために奉仕できる人格の育成」を目指しています。

【校是】

- 信仰（感謝） … 生かされている自分を実感する心
- 勤労（奉仕） … 利他に徹し奉仕する心
- 実際（真実） … 真実の生き方を見だし、実践する心

本校の教育目標は、自分の幸せのみならず、他の人の幸せも併せて追求するという、利他・奉仕の精神を持った豊かな人間性の育成と、将来社会で貢献するために必要とされる確かな学力を身につけ、生徒の希望する進路を実現させることにあります。

【教育方針】

1 21世紀型教育

自らを考え、変化に立ち向かえる力を養います。

- ・清林館 GP/アクティブラーニング/探求活動/ICT の活用

2 グローバル教育

生きた英語を学び、国際感覚を身につけます。

- ・海外交流プログラム/グローバル人材に求められる力の養成

3 キャリア教育

どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るかを考えます。

- ・自己実現に向けて将来を意識した活動の実施

4 人間教育

他社とのコミュニケーションを通じて、自らの成長へとつなげます。

- ・建学の精神「全校一大家族」に基づいた人間教育

2 沿革

大正15年	津島裁縫女学校創立
昭和13年	校名を津島高等裁縫女学校と改称
昭和16年	校名を津島高等実科女学校と改称
昭和18年	校名を財団法人津島女子商業学校と改称
昭和23年	校名を学校法人平山学園津島女子高等学校（家政科、商業科、普通科）と改称
昭和50年	海外姉妹校提携（アメリカ2校）、海外研修旅行開始
昭和51年	海外姉妹校提携（ヨーロッパ3校）
昭和53年	海外姉妹校提携（オーストラリア3校）、短期留学生受け入れ開始
昭和59年	海外姉妹校提携（韓国、善一学園）
昭和60年	米サウスイースト・ミズーリ州立大学と提携、長期留学開始
昭和61年	普通科に国際コースを併設、語学研修開始
昭和62年	海外姉妹校提携（オーストラリア2校）
平成4年	特別姉妹校 South Queensland International College 開校 特別姉妹校 Hills Language College 開校 特別姉妹校 South Queensland Academy 開校
平成6年	海外姉妹校提携（台湾、静修女子高級中学）
平成13年	校名を清林館高等学校と改称 普通科に文理コース、医療看護福祉系進学コース、進学総合コースを併設 文理コース、国際コースI類を男女共学化 海外姉妹校提携（オーストラリア1校）
平成15年	普通科全コース男女共学化
平成16年	海外姉妹校提携（ニュージーランド1校、オーストラリア1校）
平成29年	普通科を文理特進コース、文理選抜コース、国際コース、進学総合コースの4コースに改編
平成30年	新校舎竣工（愛西市持中町八町88番地） 新校舎にて教育活動開始（4月1日）
令和元年	進学総合コース語学研修開始（フィリピン）
令和3年	椋山女学園大学と高大連携に関する協定を締結
令和4年	シティカレッジプリマス（イギリス）と提携

3 設置する学校・課程・学科等

設置する学校	開校年月日	課程	学科
清林館高等学校	昭和23年4月1日	全日制課程	普通科

4 生徒数の状況

令和4年5月1日現在

学科	入学定員数	収容定員数	現員数
普通科	480人	1,440人	1,356人

5 役員 の 状況

定数 理事 6名、監事 2名

令和5年3月31日現在

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	梶村 繁夫	常勤	校長
理事	有本 誠二	常勤	事務局長
理事	平山 哲明	非常勤	学園長
理事	平山 哲了	非常勤	
理事	丸山 悟	非常勤	
監事	橋本 香苗	非常勤	
監事	岡田 和幸	非常勤	

前会計年度以降の役員異動

令和5年4月1日 平山哲明理事が常勤理事となる

令和5年4月1日 加藤大典理事が常勤理事に就任（清林館高等学校長に就任）

(1) 責任限定契約

私立学校法に従い、令和2年4月1日より責任限定契約を締結している。

・対象役員

非業務執行理事（平山哲了、丸山悟）、監事（橋本香苗、岡田和幸）

・契約内容の概要

非業務執行理事及び監事はその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときは金1円と役員報酬の2年分とのいずれか高い額を責任限度額とする。

・契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約内容に、役員がその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときに限る旨の定めがある。

(2) 役員 の 責任 の 免除

役員 の 任 務 懈 怠 に よ り 生 じ た 法 人 に 対 す る 賠 償 責 任 は、 当 該 役 員 が 善 意 で かつ 重 大 な 過 失 が ない 場 合 に は、 賠 償 責 任 を 負 う 額 から 私 立 学 校 法 に 定 め る 最 低 責 任 限 度 額 ま で を 理 事 会 の 議 決 に よ っ て 免 除 で き る。

6 評議員 の 状況

定数 13名

令和5年3月31日現在

氏名			
平山 哲明	梶村 繁夫	有本 誠二	安藤 智基
廣瀬 淳一	成田 光善	安藤 悦子	服部八重子
三輪日佐枝	川田 安正	加藤 大典	溝口 祐一
村上 正代			

7 教職員の状況

令和4年5月1日現在

区 分	専 任	兼 任	計
教諭・講師	88人	12人	100人
事務職員	9人		9人
嘱託職員		11人	12人
労務職員		4人	4人
校 医		5人	5人
合 計	97人	32人	130人

II 事業の概要

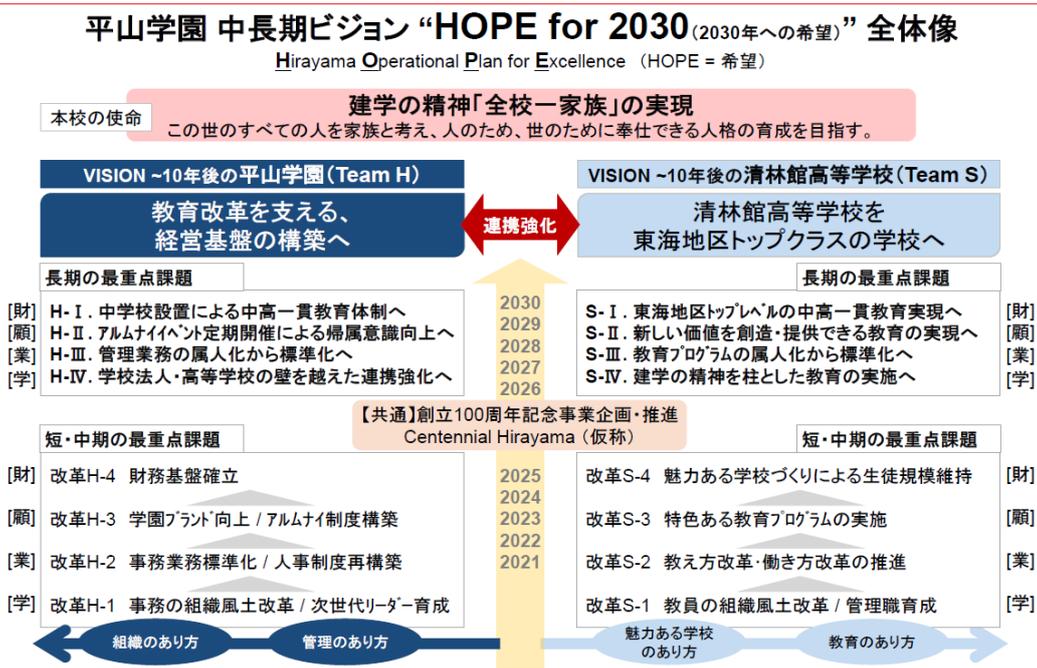
(1) 事業の概要

令和4年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が次第に小さくなりましたが、清林館高等学校の教育活動はなお影響を避けられず、学校運営はコロナ前とは大きく異なるものとなりました。そのような中、学園・学校を挙げて、「ICT活用(E d t e c h)の推進」と「感染症予防の取り組み」を最重点課題として取り組みました。授業だけでなく、学校行事や募集イベントにおいても、動画配信の活用や各教室での実施、午前午後の分散開催など、3密を避けるべく工夫を凝らし、感染予防に最大限配慮しました。

令和2年度末に完成した、中長期ビジョン“HOPE for 2030”に基づく、「進学実績の向上」「ICT活用教育の実践」「広報活動の推進・アルムナイ組織の構築」の3項目について、重点的に実施してきました。「ICT活用教育の実践」においては、第1学年及び第2学年全員がタブレットを利用した授業を受け、また、課題等もタブレット上で配信、解答するなど、活用が浸透してきました。「広報活動の推進」については、中学校設置も見据えて、新たな看板の設置やフリーペーパー・塾広報誌への掲載など積極的に進めてきました。

更に、愛知県より清林館中学校の設置計画について承認を得て、次年度の認可承認に向けて、校舎の増築や教育課程、カリキュラムなどの詳細について準備をすすめてきました。校舎の増築については、令和6年2月の竣工予定となっています。

平山学園・清林館高等学校 中長期ビジョン“HOPE for 2030”



改革S-4 魅力ある学校作りによる生徒規模維持
⇒ 進学実績の向上 (10年後：国公立大学合格120名以上)
改革S-3 特色ある教育プログラムの実施
⇒ ICT活用教育の実践
(10年後：ICTを活用して生徒を多面的に指導できる学校)
改革H-2 学園ブランド向上 / アルムナイ制度構築
⇒ 広報活動の推進・アルムナイ組織の構築
(10年後：[広報] 学園内と外部ステークホルダーの滞りない連携
[アルムナイ] 子息弟妹入学が全体の10%以上

(2) 法人本部の主な活動

ア 理事会の開催

第1回理事会 (令和4年5月26日開催)

【主な審議事項】

- ・令和3年度事業報告・決算について
- ・令和4年度事業計画・補正予算について
- ・清林館中学校設置計画書について
- ・校舎増築及び設計業者の選定について
- ・非常勤理事との責任限定契約について

第2回理事会 (令和4年10月27日開催)

【主な審議事項】

- ・令和4年度予算補正について
- ・中学校校舎増築に係る競争入札について
- ・清林館高等学校校長の船引について

第3回理事会 (令和5年2月24日開催)

【主な審議事項】

- ・役員の変動について

第4回理事会 (令和5年2月24日開催、第3回と同日開催)

【主な審議事項】

- ・令和4年度補正予算について
- ・令和5年度清林館高等学校学則(教育課程)の変更について
- ・令和5年4月からの理事長選任について
- ・令和5年度役員報酬について
- ・令和5年度資金運用計画について
- ・令和5年度予算について

イ 評議員会の開催

第1回評議員会 (令和4年5月26日開催)

【主な審議事項】

- ・第1回理事会議案に同じ

第2回評議員会 (令和4年10月27日開催)

【主な審議事項】

- ・第2回理事会議案に同じ

第3回評議員会 (令和5年2月24日開催)

【主な審議事項】

- ・役員の変動について
- ・令和4年度補正予算について
- ・令和5年度清林館高等学校学則(教育課程)の変更について
- ・令和5年度役員報酬について

- ・令和5年度資金運用計画について
- ・令和5年度予算について

ウ 監査の状況

公認会計士監査	3回
法人監事監査	3回

(3) 清林館高等学校の主な活動

ア 学事関係

(新型コロナウイルス感染予防に重点を置いて活動)

4月 1日	長期留学生派遣 (私費)
4月 6日	入学式
4月 8日	1学期始業式
4月22日	避難訓練
6月 3日	創立記念式典・人権講演会
6月 4日	3年生修学旅行 (～7日)
6月 4日	1年生国際コース語学研修 (フィリピン、～7月23日)
7月 4日	1年生文理・進学総合コース語学研修 (フィリピン、～8月5日)
7月16日	短期姉妹校交換留学派遣 (豪・ニュージーランド、～8月21日)
7月20日	1学期終業式
9月 1日	2学期始業式
9月 1日	サウスイースト・ミズーリ州立大学特別奨学生派遣
9月 1日	長期留学生派遣 (私費)
9月13日	体育祭
9月14日	校内弁論大会
9月16日	清林祭 (～17日)
11月10日	感謝の会
11月26日	姉妹校短期留学生受入れ (～1月7日)
12月21日	2学期終業式
12月22日	短期受入留学生研修旅行 (犬山)
1月10日	3学期始業式
1月16日	推薦選抜・スカラシップ特別選抜試験
1月23日	一般選抜試験
3月 1日	卒業証書授与式
3月 2日	2年生修学旅行 (～5日)
3月16日	球技大会 (～17日)
3月20日	3学期終業式

※中止した主な行事…海外研修旅行

イ 生徒募集関係

5月28日	第1回オープンスクール
6月25日	第2回オープンスクール
8月11日	国際コース説明会
8月18日	中学校対象入試説明会
8月27日	第1回体験入学会（～28日）
9月22日	塾対象入試説明会
10月 1日	第2回体験入学会
10月15日	私立学校展（～16日）
11月 3日	第1回入試説明会
11月26日	第2回入試説明会

Ⅲ 財務の概要

令和4年度の資金収支計算書（表1）の概要は次の通りです。

収入合計は29億95百万円で、予算比では下記表の通りです。前年度からは繰越金除きで144百万円増加しています。主な増減は、学生生徒等納付金+43百万円、補助金+94百万円、資産売却収入+80百万円、前受金▲18百万円、その他収入▲30百万円、調整勘定▲36百万円となりました。

支出合計は29億95百万円で、予算比では下記表の通りです。繰越金除きでは10億54百万円で、前年度から+52百万円増加しています。人件費▲11百万円、教育研究管理費+22百万円、施設関係費+35百万円です。教育研究管理費増加の主な要因は光熱水費+6百万円、旅費交通費+6百万円、賃借料+11百万円です。

この結果、翌年度繰越金は19億41百万円となりました。

（表1）資金収支計算書

（単位 円）

消費収入の部	予 算①	決 算②	差異①－②
学生生徒納付金	614,205,067	614,205,067	0
手数料	28,346,000	28,387,300	▲ 41,300
寄附金	1,000,000	1,268,000	▲ 268,000
補助金	582,382,100	583,121,572	▲ 739,472
資産売却収入	80,221,050	80,221,050	0
受取利息・配当金	900,000	857,266	42,734
雑収入	38,394,143	39,099,895	▲ 705,752
前受金収入	158,100,000	198,665,000	▲ 40,565,000
その他の収入	88,954,805	87,725,745	1,229,060
資金収入調整勘定	▲ 241,412,500	▲ 239,362,481	▲ 2,050,019
前年度繰越支払資金	1,600,468,405	1,600,468,405	0
収入の部合計	2,951,559,070	2,994,656,819	▲ 43,097,749

（単位 円）

消費支出の部	予 算①	決 算②	差異①－②
人件費	777,567,827	733,941,356	43,626,471
教育研究管理経費	186,110,954	146,389,843	39,721,111
借入金等利息	5,999,400	5,999,400	0
借入金等返済	66,660,000	66,660,000	0
施設関係支出	44,000,000	35,288,400	8,711,600
設備関係支出	21,600,000	8,764,800	12,835,200
その他の支出	102,521,628	98,938,024	3,583,604
予備費	35,000,000	0	35,000,000
資金支出調整勘定	▲ 29,998,827	▲ 41,915,340	11,916,513
次年度繰越支払資金	1,742,098,088	1,940,590,336	▲ 198,492,248
支出の部合計	2,951,559,070	2,994,656,819	▲ 43,097,749

(表2) 事業活動収支計算書

(単位 円)

科目	予 算①	決 算②	差異①-②
学生生徒等納付金	614,205,067	614,205,067	0
手数料	28,346,000	28,387,300	▲ 41,300
寄付金	1,000,000	1,268,000	▲ 268,000
経常費等補助金	581,383,100	582,122,572	▲ 739,472
雑収入	38,394,143	39,099,895	▲ 705,752
教育活動収入計	1,263,328,310	1,265,082,834	▲ 1,754,524
人件費	777,567,827	733,941,356	43,626,471
教育研究経費	271,546,900	231,287,361	40,259,539
教育活動支出計	1,049,114,727	965,228,717	83,886,010
教育活動収支差額	214,213,583	299,854,117	▲ 85,640,534
施設整備補助金	999,000	999,000	0
受取利息・配当金	900,000	857,266	42,734
その他教育活動会収入	0	0	0
教育活動外収入計	1,899,000	1,856,266	42,734
借入金利息等	5,999,400	5,999,400	0
その他教育外活動支出	1,000,000	1,000,000	0
教育活動外支出計	6,999,400	6,999,400	0
教育活動外収支差額	▲ 5,100,400	▲ 5,143,134	42,734
経常収支差額	209,113,183	294,710,983	▲ 85,597,800
資産売却差額	17,730,728	17,730,728	0
その他の特別収入	0	0	0
特別収入計	17,730,728	17,730,728	0
資産処分差額	69,648,416	69,648,416	0
その他特別損失	564,054	555,254	8,800
特別支出計	70,212,470	70,203,670	8,800
特別収支差額	▲ 52,481,742	▲ 52,472,942	▲ 8,800
予備費	35,000,000	0	35,000,000
基本金組入前当年度収支差額	121,631,441	242,238,041	▲ 120,606,600
基本金組入額合計	▲ 132,260,000	▲ 110,713,200	▲ 21,546,800
当年度収支差額	▲ 10,628,559	131,524,841	▲ 142,153,400
前年度繰越収支差額	2,349,381,386	2,349,381,386	0
基本金取崩額	132,138,738	132,138,738	0
翌年度繰越収支差額	2,470,891,565	2,613,044,965	▲ 142,153,400
事業活動収入計	1,282,958,038	1,284,669,828	▲ 1,711,790
事業活動支出計	1,126,326,597	1,042,431,787	83,894,810

令和4年度末の貸借対照表（表3）の概要は、次の通りです。

資産総額は、79億97百万円で、前期比1億19百万円増加しました。主なものは、有形固定資産が土地売却▲62百万円、減価償却費▲86百万円、借入金返済特定資産▲67百万円、現預金が+3億38百万円です。

負債総額は、12億96百万円で前期比1億23百万円減少しました。借入金返済▲67百万円、未払金▲39百万円が主なものです。

基本金は40億88百万円と前期比21百万円減少しました。

（表3）貸借対照表

（単位 円）

	令和5年3月末	令和4年3月末	前期末比増減
固定資産	6,033,366,584	6,255,301,083	▲ 221,934,499
流動資産	1,963,905,834	1,622,664,087	341,241,747
資産の部合計	7,997,272,418	7,877,965,170	119,307,248
固定負債	866,580,000	933,240,000	▲ 66,660,000
流動負債	429,583,603	485,854,396	▲ 56,270,793
負債の部合計	1,296,163,603	1,419,094,396	▲ 122,930,793
第1号基本金	4,023,063,850	4,044,489,388	▲ 21,425,538
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	65,000,000	65,000,000	0
基本金の部合計	4,088,063,850	4,109,489,388	▲ 21,425,538
翌年度繰越消費収入超過額	2,613,044,965	2,349,381,386	263,663,579
消費収支差額の部合計	2,613,044,965	2,349,381,386	263,663,579
負債の部、基本金の部及び▼ 消費収支差額の部合計	7,997,272,418	7,877,965,170	119,307,248

人件費比率（対教育活動収入）	58.0%
教育研究経費比率（対教育活動収入）	18.3%
主な有形固定資産	
土地	1,650,201,007円
建物	2,239,376,135円
構築物	341,690,088円
機器備品	124,660,609円
借入金	日本私立学校振興・共済事業団 933,240,000円